

新		旧	
(P181)		(P181)	
事業名	1-3 保和苑整備事業	事業名	1-3 保和苑整備事業
事業主体	水戸市	事業主体	水戸市
事業期間	2016(平成28)年度～2028(令和10)年度	事業期間	2016(平成28)年度～2022(令和4)年度
支援事業名	市単独事業	支援事業名	市単独事業
事業位置	重点区域内 	重点区域内 	
事業概要	<p>園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めます。</p> <p>① 西側の修景施設整備 植栽と散策路、及び休憩施設の配置</p> <p>② 園路の整備 バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備</p> 	<p>園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めます。</p> <p>① 西側の修景施設整備 植栽と散策路、及び休憩施設の配置</p> <p>② 園路の整備 バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備</p> 	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>保和苑は、元禄時代、水戸藩第2代藩主徳川光圀が寺(桂岸寺)の庭を愛し保和園と名付けたのが始まりといわれています。この保和苑周辺は歴史的建造物や史跡が集積し、「郷土の祭礼にみる歴史的風致」を構成している「古式ゆかしい八幡宮の祭礼」の範囲として、良好な市街地の環境の一角を形成しています。同事業を通して、保和苑の魅力はもちろん、歴史的な名残を残す周辺のまちなみ景観が向上することを目指します。</p>	<p>保和苑は、元禄時代、水戸藩第2代藩主徳川光圀が寺(桂岸寺)の庭を愛し保和園と名付けたのが始まりといわれています。この保和苑周辺は歴史的建造物や史跡が集積し、「郷土の祭礼にみる歴史的風致」を構成している「古式ゆかしい八幡宮の祭礼」の範囲として、良好な市街地の環境の一角を形成しています。同事業を通して、保和苑の魅力はもちろん、歴史的な名残を残す周辺のまちなみ景観が向上することを目指します。</p>	